

あとがき

20 世紀半ばから今日に至るまで、生命科学研究の発展には目を見張るものがある。臨床検査領域では、1934 年にフェーリングが、尿を分析することによってアミノ酸代謝異常を発見(フェニルケトン尿症の発見: Fölling A: Hoppe Seylers Z Physiol Chem 227: 169-176, 1934)できることを明らかにし、当時の医学会に「生体成分の科学的な分析」すなわち現在の臨床検査医学の重要性を提示している。隔世の感があるが、今や EBM の実践に必須である臨床検査医学なしには、医療・医学は成り立たなくなっている。

そのような生命科学研究発展の中でも、免疫学は、発展著しい代表的な領域の一つである。生体内で起こっている免疫学的事象は、かなりの部分が科学的に説明できるようになり、移植医療や生殖医療の今日の進展はその具体的成果である。一方で、免疫はまだ解明すべき点が多く残っている学問でもある。地味な自然免疫はすでに解明済みの領域と考えている人々が多いのかもしれない。しかしながら、自然免疫細胞膜にある TLR(トールライクレセプター)の発見・解明により、自然免疫細胞が侵入微生物の糖鎖やウイルスの RNA などのパターンを識別し、防御をしていることがわかってきた。まだまだ、われわれ人間が知りえていることは、自然現象のほんの一部に過ぎないのである。

今月号の主題を編集していただいた松下操教授は、福島県立医科大学時代に藤田禎三教授らとともに、生体防御レクチン(innate defense lectin)の確立に大きな貢献をされた。その生体防御レクチンは補体活性化の新しい経路(レクチン経路)として確立され、生体防御の中心的役割を果たしていることが明らかになっている。日本の輝かしい科学的成果の一つである。個人的なことで恐縮であるが、小生の九州大学での前任大河内一雄教授は、SLE 患者にみられる自己抗体の抗原として博多抗原(Hakata-Ag)を発見されていた(Inaba S, Okochi K: Igaku No Ayumi 107: 690-691, 1978)。その博多抗原を明らかにしてみると(Sugimoto R, Yae Y, Akaiwa M, et al: J Biol Chem 273: 20721-20727, 1998)、それが生体防御レクチンの新しい因子(H-フィコリン)であることが判明している。

本号では、この補体レクチン経路の概要を総論でわかりやすく解説していただき、各論・話題では、補体レクチン経路発見とその後の発展・今後の展望などについてまとめていただいた。読者の皆様楽しんでいただけることを期待している。(濱崎直孝)

バックナンバー 「今月の主題」一覧

第 50 巻(2006 年)

- 9 号 高齢者の臨床検査値
- 10 認知症の動的神経病理
- 11 海外旅行と臨床検査
- 12 (増刊号)ナノテクノロジーとバイオセンサ
- 13 臨床検査史—国際的な流れとわが国の動向

第 51 巻(2007 年)

- 1 号 乳癌と臨床検査
- 2 尿路感染症の診断
- 3 血管超音波検査
- 4 悪性リンパ腫
- 5 脂質
- 6 骨粗鬆症と臨床検査
- 7 不整脈検査
- 8 ヒト乳頭腫ウイルス(HPV)と子宮頸癌
- 9 フローサイトメトリー
- 10 白血球
- 11 メタボリックシンドローム健診での注意点
- 12 (増刊号)遺伝子検査—診断とリスクファクター
- 13 胎盤

第 52 巻(2008 年)

- 1 号 インフルエンザ診療のブレイクスルー
- 2 輸血の安全管理
- 3 アルツハイマー病の最近の進歩
- 4 歯科からみえる全身疾患
- 5 自己免疫疾患の診断
- 6 エピジェネティクスと臨床検査
- 7 腎移植

〔バックナンバーのお取り扱い〕

第 50 巻第 9 号以降は医学書院販売部がお取り扱いします。それ以前のは(株)東亜ブック(東京都豊島区池袋 4-13-4, 電話 03-3985-4701, FAX 03-3985-4703 <http://www.toabook.com/>, E-MAIL: st@toabook.com)がお取り扱いします。

臨床検査 (第 52 巻第 8 号)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693

2008 年 8 月 15 日発行(毎月 1 回 15 日発行)

定価 1,785 円(本体 1,700 円 + 税 5%)

2008 年 年 ぎ め 予 約 購 読 料 25,980 円(送料弊社負担・増刊号を含む 13 冊)

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5712

ファクシミリ (03) 3815-7802/3815-7982

E-mail: rinshokensa@igaku-shoin.co.jp

担当 後藤・柴崎・中田

印刷所 三美印刷(株) ☎ (03) 3803-3131

広告申込所 (株)東広社 ☎ (03) 3409-8803

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan.
 ・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
 ・ JCLIS (株)日本著作出版権管理システム委託出版物
 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。
 ・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
 「臨床検査」URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinshokensa/>